

定期報告書の添付書類（記入例）

平成 25 年 ○ 月 ○ 日

農場の名称又は所有者名： 宗谷 一郎

農場の所在地： ○○市△△町××番地

1 農場の平面図

農場の平面図を作成し、下記の①～④までの記載事項について図面内に明示してください。

（※別紙での提出の場合、欄内に「別添」と記載してください。）

*なお、農場平面図は、各施設の配置及び名称（畜舎、立入禁止看板、飼料タンクや飼料保管施設、家畜の排せつ物保管施設、農機具保管庫、生乳処理室、パドック、GPセンター等を含む）を記載、又は記載された様式を使用してください。

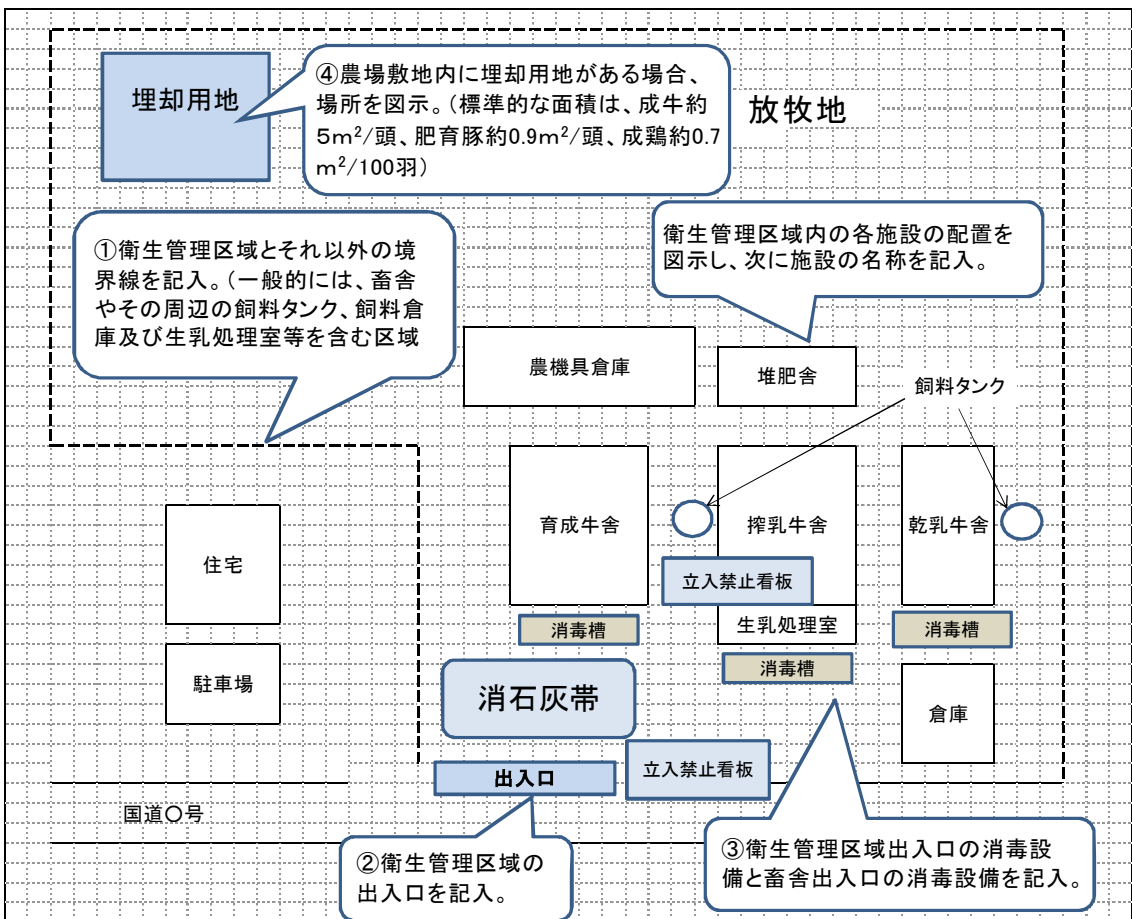
記載事項

①衛生管理区域^{注1}（衛生管理区域とそれ以外の区域を区分する境界線を記載してください。）

②衛生管理区域の出入口

③消毒設備の設置箇所（衛生管理区域及び畜舎の出入口に設置した消毒設備）

④口蹄疫（高病原性鳥インフルエンザ）の発生に備え、農場敷地内に埋却用地がある場合、その場所^{注1} 衛生管理区域とは、病原体の侵入を防止するために衛生的な管理が必要な区域をいいます。



別紙で提出の場合は、欄内に「別添」と記載して下さい。
農場平面図は、手書き以外に、航空写真や土木設計用図面等でも構いません。平面図には農場敷地内の各施設の配置及び各施設の名称を記載、又は記載されたものを使用して下さい。

2 必要のない者を衛生管理区域に立ち入らせないようにするとともに、衛生管理区域に立ち入った者が飼養する家畜に接触する機会を最小限とするために講じた措置の内容

○措置の内容について口にチェック印を記入、複数回答可

◆衛生管理区域に立ち入らせない方法

- 衛生管理区域の出入口付近に立入禁止等の看板を設置
 衛生管理区域の出入口にゲートを設置
 牧柵・杭等による衛生管理区域と他の区域との区分
 その他 (_____)
その他は、記載項目以外について記入。

◆衛生管理区域に立ち入った者が家畜に接触する機会を最小限とする方法

- 畜舎出入口に看板を設置 畜舎の戸締め 畜舎の施錠 監視カメラ
 その他 (_____)

3 衛生管理区域及び畜舎等の出入口付近に設置した特定疾病又は監視伝染病の発生を予防するために必要な消毒をする設備の種類

○消毒設備について口にチェック印を記入、複数回答可

◆衛生管理区域の出入口の車両消毒

- 消石灰帯 消毒薬噴霧器 車両用消毒槽 車両用消毒ゲート 消毒マット
 その他 (_____)

◆畜舎等の出入口の人の消毒

- 踏込消毒槽 消毒薬噴霧器 消毒マット 手指消毒スプレー
 その他 (_____)

4 畜舎ごとの家畜の飼養密度

○畜舎ごとに1頭(羽)当たりの床面積を記入。

畜舎(名称、区分等)	1頭(羽)当たりの面積	畜舎(名称、区分等)	1頭(羽)当たりの面積
搾乳牛舎	〇〇m ² /頭	1号豚舎(種豚)	〇〇m ² /頭
乾乳牛舎	〇〇m ² /頭	1号豚舎(母豚)	〇〇m ² /頭
育成牛舎	〇〇m ² /頭	2号豚舎(育成豚)	〇〇m ² /頭
1号鶏舎	〇〇m ² /羽	2号豚舎(肥育豚)	〇〇m ² /頭

畜舎ごとの家畜の飼養密度は「家畜を収容している区画の床面積÷収容頭羽数」により算出することを基本とする。


○区画ごとの床面積や収容頭羽数が同一でない場合には、「家畜を収容している各区画の平均床面積÷平均収容頭羽数」により算出する。

○同一農場(畜舎)で種豚、母豚、育成豚、肥育豚を飼養している場合には、それぞれについて算出する。

5 埋却の用に供する土地の確保の状況（馬のみの所有者は記入不要）

○口蹄疫（鶏等については、高病原性鳥インフルエンザ）の発生に備えた措置について、次の該当する口にチェック印を記入及び必要事項を記入

埋却用地を確保 焼却・化製処理で対応（6に進む） 確保していない（7に進む）

（①に進む）

- ① 埋却用地の所在地 〇〇市△△町××番地
- ② 埋却用地の所有者 本人（⑤に進む。③、④は記入不要。） 本人以外（③に進む）
- ③ 土地所有者氏名又は名称 土地所有者が本人以外ならば記入。
- ④ 土地利用に関する契約 有（契約内容：契約内容については、「賃借契約を成立」、「契約書は交わしていないが承諾を得ている」等の概要を記入。）
無
- ⑤ 埋却用地の面積 〇〇〇 m² 埋却用地として確保できる面積を記入。
 ※標準的に埋却に必要な面積：成牛1頭当たり約5m²、肥育豚1頭当たり約0.9m²、成鶏100羽当たり約0.7m²
- ⑥ 埋却用地の利用状況 放牧地 採草地 畑 その他（ ）
- ⑦ 農場（畜舎等）から埋却用地までの距離 〇〇 m
- ⑧ 埋却用地の近隣住民^{注2} その他の関係者への埋却の実施に関する説明の有無 有 無 その他（ ）
 注2 埋却用地に隣接する地域の住民
- ⑨ ⑧の説明に対する当該関係者の承諾の有無 有 無 その他（ ）
- ⑩ その他埋却の的確かつ迅速な実施のための参考となるべき事項 埋却するにあたり、⑧及び⑨以外の対応を記入。
 （例：近隣住民以外（町内会）の住民にも説明。）

6 焼却又は化製のための準備措置（馬のみの所有者は記入不要）

○焼却又は化製のための準備措置をしている場合、次の該当する口にチェック印を記入及び必要事項を記入。（埋却用地を確保している場合は記入不要。）

- ① 焼却施設又は化製場の名称及び所在地
 ・名称 〇〇化製処理場
 ・所在地 〇〇市△△町××番地
- ② 農場（畜舎等）から焼却施設又は化製場までの距離 〇〇 km
- ③ 焼却施設又は化製場の近隣住民その他の関係者への焼却又は化製の実施に関する説明の有無 有 無 その他（ ）
- ④ ③の説明に対する当該関係者の承諾の有無 有 無 その他（ ）

7 埋却の用に供する土地、焼却施設又は化製場を確保していない場合にあつては、これらを確保するための取組の状況（馬のみの所有者は記入不要）

○次の該当する口にチェック印を記入及び必要事項を記入。（埋却用地を確保している場合や焼却又は化製のための準備措置をしている場合は記入不要。）

- 土地を探している 購入手続き中 市役所又は役場等に相談
地権者と交渉中 その他（ ）

以下については、大規模所有者^{注3}のみ対象

8 担当の獣医師の氏名及び所属又は担当の診療施設の名称

○次の該当する①あるいは②の必要事項を記入。

①もしくは②のどちらかを記入。

- ① 担当獣医師氏名 北海 道太郎
担当獣医師所属 北海動物コンサルタント 連絡先 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
- ② 担当診療施設名 〇〇家畜診療所 連絡先 ×××××-×-××××

※管理獣医師がいる場合については、①の担当獣医師氏名及び担当獣医師所属を記入。家畜診療所に家畜の診療を依頼している場合は、②の診療施設名を記入

9 大規模所有者にあつては、従業員が特定症状^{注4}を確認した場合に家畜保健衛生所へ直ちに通報することを規定したものの写し（馬のみの所有者は記入不要）

○添付の有無について口にチェック印を記入。添付しない場合には、その理由を記入。

別添 添付しない（理由：
）

注3 大規模所有者とは、次の頭羽数に該当する家畜の所有者をいいます。

- ①成牛（次のイ・ロに該当するもの）の場合 200頭以上
イ 月齢が満17月以上の肥育牛（乳用種の雄牛・交雑種の牛に限る。）
ロ 月齢が満24月以上のその他の牛
- ②育成牛等（次のイ・ロに該当するもの）の場合 3,000頭以上
イ 月齢が満4月以上満17月未満の肥育牛（乳用種の雄牛・交雑種の牛に限る。）
ロ 月齢が満4月以上満24月未満のその他の牛
- ③水牛・馬の場合 200頭以上
- ④鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 3,000頭以上
- ⑤鶏・うずらの場合 10万羽以上
- ⑥あひる・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥の場合 1万羽以上

注4 特定症状とは、牛、豚等については、口蹄疫に関する症状、鶏等については、高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する症状をいいます。